

新学習指導要領の趣旨を踏まえた 授業づくりに関する研究

研究の背景

平成29年3月に小学校学習指導要領及び中学校学習指導要領が公示された。今回の改訂では、子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成することが示されている。また、知識の理解の質を更に高め、確かな学力を育成することも求められている。

資質・能力の確実な育成と知識理解の質を高めるためには、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が必要不可欠である。

全面実施に向けて、新学習指導要領の趣旨とそれを踏まえた授業づくりのポイントを県内の各学校に周知し、全教員が授業改善に取り組むことが求められている。

研究の目的

○新学習指導要領の趣旨とポイントについて、県内の小学校・中学校（中等教育学校を含む）の全教員の理解の促進を図るために、内容をまとめたリーフレットを作成し、研修講座や学校支援等で活用する。

○県内の児童生徒に確かな学力を身に付けさせるために全教員が授業改善に取り組むことを目指し、各教科の学習指導要領の趣旨と「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の視点や授業づくりのポイントをまとめた冊子を作成し、研修講座や学校支援等で活用する。

研究の内容

《新学習指導要領の趣旨とポイント》

次の各項目で、新学習指導要領の趣旨とポイントをリーフレットに示す。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 改訂の経緯及び基本的な考え方 | 2 育成を目指す資質・能力 |
| 3 主体的・対話的で深い学び | 4 カリキュラム・マネジメント |



《新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりのポイント》

次の各項目で、冊子『新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり』を刊行し、授業づくりのポイントを示す。

- | | |
|-------------|------------|
| I 小学校・中学校総則 | II 小学校各教科等 |
| III 中学校各教科等 | IV 移行措置の概要 |



各教科等の1ページ目では、全ての教科等の目標と内容が資質・能力の三つの柱（「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」）で再整理されたことを示した。

2ページ目では、各教科等における授業づくりのポイントを示した。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の視点及び各教科等で大切にすべき点をまとめている。

本成果物を活用して、子供たちの9年間の学びを見通した授業づくりが行えるように、各教科等の趣旨と授業づくりのポイントを横断的・系統的に確認することができるようにした。

研究の活用、発展

○県内の小学校・中学校に冊子を配布し、校内研修や授業研究の際に活用する。

○学習指導に関する研修講座及び授業づくり等に関する学校支援の際に、各教科等の趣旨や授業づくりのポイントを示す。

○本研究で示した各教科等の授業づくりのポイントを取り入れた授業実践を行い、その成果を『新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業実践事例集』（小学校・中学校）として平成30年度に刊行する。